



◆表紙の紹介◆

「完全対応セミナー 貸借対照表の公告のすべて」

10月1日「貸借対照表の公告」がスタートします。特定非営利活動法人の理事・監事は、「規定に違反して、公告をしなかったときは」二十万円以下の過料（NPO法 第80条）に処される場合があります。この法改正の内容を【詳しい概要解説と対応策をお伝えするセミナー】で5月12日、5月16日の2回情報提供されました。

◆目次◆

- P2 わくわくげんき 「サンソンプロジェクト」体験
- P3 わくわくげんき 「みらい編集室」体験
「花でつながる心と笑顔のプロジェクト」体験
- P4 あきたスギッチファンド情報
- P5 助成金情報
- P6 補助金・助成金を得るためには



わくわくげんき Vol.2

サンソンプロジェクト 山菜植え付け体験会

「サンソンプロジェクト―次世代につなぐ里山のなりわいづくり」は、横手市山内地域で耕作放棄地を活用して各種山菜を栽培・販売する事業。今回、山内南共助連合会（石沢達雄会長）と高校生の山菜植え付け作業が、5月22日に開催されました。増田高校農業科学科、横手高校定時制、横手支援学校高等部の生徒や共助組織の会員の計34名が参加しました。

会員から「植える前にしっかりと水で湿らして」など植え付けの仕方を指導してもらいました。高校生はワラビや山ウド、タラの芽などをクワやスコップで穴を掘り、苗を丁寧に植え付けました。



体験して感じたこと

山菜は山に自然と繁殖するものだとばかり思っていたので、畑で栽培するこのプロジェクトはとても新鮮みがありました。畑で栽培することで、険しい山に入らなくても楽に山菜を収穫できるようになり、また「休耕地」を有効利用できるので一石二鳥の素晴らしい取り組みだと思いました。慣れない作業に悪戦苦闘しましたが、自然をめいっぱい感じながらの作業はとても楽しく、充実感がありました。収穫も是非体験したいです。

横手高校定時制3年生
佐藤 碧

山ウドとタラの芽を植えました。体験をして先ず驚いたのは、その苗の大きさです。私たちが普段目にする山菜は小さいものが多いですが、実際は根がとて太く、どっしりとした重みを感じました。そして粘土質の土が殆どなので、なかなか思うように進まず、農業は一日にしてならずと痛感しました。

また、普通の生活ではあまり使うことのない、クワなどを使うことができ新鮮でした。改めて農作業の大変さ、達成感、楽しさを感じ、将来なにかしらで農業や自然そのものに関わっていけたらいいなと思いました。

横手高校定時制2年
諸越 知美

ワラビ、ウド、タラの芽を植え付けました。クワ、剣先スコップ（土がつきにくいタイプ）という農具を使いました。スコップに最初は手こずって上手にできませんでしたが、作業しているうちに穴を掘り、植え付けることができました。これらの作業はとて大変だなと実感し、作業終了後は達成感を感じました。

晴天に恵まれ、たくさんの汗を流しながら作業ができました。普段、外で作業することはないので、貴重な体験になりました。またこのようなプロジェクトがあれば参加したいと思いました。

横手高校定時制2年
佐藤 理湖



今回は、ワラビの他にウドも植えました。収穫できるのが2～3年後だとお伺いしましたが、いずれは高齢者の方々があまり苦労しないで山菜を採ることができると思うので、微力ながら地域に貢献できたと思います。今回植えた山菜についても昨年秋に植えた山菜と同様に順調に増殖して欲しいです。

増田高校農業科学科
小坂 真穂



今月号は、横手市山内で開催されたトヨタ財団助成「サンソンプロジェクト_山菜植え付け体験会」、道の駅うご端縫いの郷で開催「みらいの編集室」、横手市地域づくり活動補助金「花(はな)でつながる心(こころ)と笑顔(えがお)プロジェクト」に参加した高校生の皆さんの感想をお届けします。

みらいの編集室

羽後町を拠点に、今年の春より官民学の有志十一般の方で構成している実行委員会が、新たに子どもから大人まで、参加自由のまちづくりプロジェクト「みらいの編集室」を開始しました。

専門家から取材や編集・撮影を学び、住民目線でまちの「いいね!」を集めて情報発信する集まりです。将来的にはまちの問題を見つけて、自ら課題解決に取り組んでいく人材の育成と、受け身ではなくアクティブな住民が増えていくことを目的にして活動していきます。

参加して感じたこと

「道の駅うご端縫いの郷」において、5月12日(土)に行われた第1回「みらいの編集室」オープニングイベントに生徒会執行部3名が参加してきました。良い編集とは、①ダメなところを良くする、②価値をつくる、③価値を変える「価値転換」が大事ということでした。

「みらいの編集室」では、雑誌や映像、ラジオ、写真といったデザインを行い、新しい価値観を創造していく予定です。今後の生徒会活動や進路に活かせる内容で、とても参考になりました。今後も継続して参加していきたいと思います。

5月26日(土)に「道の駅うご端縫いの郷」で行われた「みらいの編集室」2回目のイベントに参加してきました。毎回、〇〇×編集という形で行い、今回は「食×編集」で「暮らしを豊かにする食」というトークテーマでトークセッションが行われました。地元の食材というコンセプトで暮らしを豊かにしていくには、①自分と他者の食などを体験し違いを知ること、②違いを楽しむこと、③食材を無駄なく使い料理のバリエーションを増やし楽しむことが大切だと知ることが出来ました。

羽後高校
高橋駿輔



花でつながる心と笑顔 プロジェクト

よこて園芸療法の会「庭じかん」が開催した「花でつながる心と笑顔プロジェクト」は、プランターの花が横手市のあちらこちらに咲くことで、花や緑の植物を通して人と人のコミュニケーションが生まれ、人と人がつながったり、心が癒されたり、育てる活動により健康を維持したりすることを目的に行いました。プランターの植え付け作業は、障害のある方々や高齢者の方々にも手伝っていただきました。



参加して感じたこと

今回のボランティアでは、障がい者の方やお年寄りの方と一緒に活動することができました。そこでは、相手に「お願いします。」などの声をかけたり、一緒にお話しをしたりして楽しく活動することができました。次のボランティア活動でも協力して楽しく活動したいです。

横手高校定時制
高橋 佳奈



今回は高校生ライターの皆さんが、地域での課題解決に向けたプロジェクト3つに参加した感想を掲載しました。プロジェクトのメンバーに話しを聞くことだけではなく、一緒に体を動かすことで気づくことが多くあったようです。活動の始めは緊張の顔も終わるころには生き生きとした目が印象のライターの皆さんでした。(熊谷 淳子)

◆あきたスギッチファンド情報◆

第 18 回あきたスギッチファンド助成事業決定団体

[病児の支援活動を応援するファンド] (全国心臓病の子どもを守る会秋田支部からの資金提供)

冠ファンド 上限 20 万円コース	
団体名	事業名
子育てラボ hateao	小児科医と連携した病児託児・病院通院サポートシステム作り
[本ファンド]	
本ファンド 上限 10 万円コース	
団体名	事業名
ピース・オブ・ベルズ (POB)	第 9 回世界平和祈念クリスマスチャリティーハンドベル演奏会
(特非)コミファ	依存症を持つ家族の支援事業
本ファンド 上限 30 万円コース	
団体名	事業名
北秋田ミュージック・ケア研究会～ハートミング～	ミュージック・ケア体験セミナー
市民おもしろ塾	能代市杉沢台縄文竪穴住居図の展示と関連遺物展示と講演会・シンポの開催
国際教養大学秋田若者活性化委員会	FROM PROJECT 秋田
本ファンド 上限 50 万円コース	
団体名	事業名
和田公園愛護会	河辺中央児童館解体跡地への再生計画(案) にもとづく事業
(特非)由利本荘にかほ市民が健康を守る会	由利本荘市の大学生を応援しよう

少子化対策応援ファンド助成事業決定団体

助成金 20 万円	
団体名	事業名
NPO 法人秋田県北 NPO 支援センター	学校用品リユース事業
助成金 30 万円	
団体名	事業名
子育て応援ぬく森	世代をつなぐプロジェクト
サポートグループ COCO すた	語り合い、支えあい、つながる場づくりー学び合いと周知を中心にー
Raku*iku (らくいく)	思春期までに伝えたい！親子で考える「恋愛性教育」
NPO 法人秋田育さぽドリームエンジェル	チャイポ～地域チャイルドサポート養成講習会～
ママとこどもの秘密基地実行委員会	ママとこどもの秘密基地
おおだて子育て・多世代交流実行委員会	子どもも大人も思いっきりあそぼう！みんなで一緒に地域の魅力発見！
助成金 50 万円	
団体名	事業名
ここはぐ	おかあさんのための学び舎
能代おやく劇場	花咲かせプロジェクト 2018「糸の森の音楽会」×子ども食堂 おいしいごはんと素敵な音楽でおなかも心もいっぱい！
秋田子育て支援サポーター団体 CHERISH	CHERISH キッズフェス 2018
アミューズメントサポート「あ☆そ☆び」	おおだて：ハッピー子育てプロジェクト

◆助成金情報◆

こども食堂拠点整備応援プロジェクト

今日、全国的に広がりを見せるこども食堂等への支援を通じて、子ども達が安心して健やかに成長できる「食の居場所」づくりを推進。

申込み期限：平成 30 年 6 月 29 日（金）
 助成金額：総額 440 万円（助成限度額 20 万円／件）
 詳細：<http://mow.jp/kodomo-mitsubishi2018.htm>
 問合せ先：一般社団法人全国食支援活動協力会
 （旧：全国老人給食協会）
 TEL：03-5426-2547（平日）



あしたのまち くらしづくり活動賞

地域が直面するさまざまな課題を自らの手で解決して、住み良い地域社会の創造をめざし、取り組んでいる地域活動団体等の活動の経験や知恵などのストーリーを報道。

締切：平成 30 年 7 月 4 日（水）
 概要：「読売新聞」「NHK」主催団体 HP で発表
 詳細：<http://www.ashita.or.jp/prize/>
 連絡先：（公財）あしたの日本を創る協会
 TEL：03-6240-0778



子育てと仕事の両立支援に対する助成活動

国家的課題である待機児童問題の解消へ貢献することを目的に、保育所・放課後児童クラブの受け皿の拡大や質の向上の取組みに対し、資金助成を行う。

締切：平成 30 年 6 月 29 日（金）
 助成金総額：最大 1,400 万円
 詳細：<http://www.seiho.or.jp/info/news/2018/20180516.html>
 問合せ先：生命保険協会
 「子育てと仕事の両立支援」事務局
 TEL：03-3286-2643



AIA 国際活動助成金

県内で国際交流や国際協力・国際理解などの多文化共生を推進する活動への助成。

募集期間：平成 30 年 7 月 1 日（日）～7 月 31 日（火）
 助成金額：限度 8 万円
 詳細：<http://www.aiahome.or.jp/pages/page-1488462840-172>
 連絡先：（公財）秋田県国際交流協会（AIA）
 TEL：018-893-5499



青少年スポーツ振興に関する助成金（後期）

青少年スポーツの振興に関する事業を奨励、または積極的に行っている一般財団、社団 NPO 法人等。活動を 3 年以上継続して活動している団体への助成。

締切：平成 30 年 6 月 20 日（水）
 詳細：<http://www.yonexsports-f.or.jp/joseikin.html>
 助成金額：予算の 2 分の 1 以内で上限 100 万円
 連絡先：（公財）ヨネックススポーツ振興財団
 TEL 03-3839-7195



第 29 回緑の環境プラン大賞

生活の質の向上やコミュニティの醸成の実現への取り組みを一層強化し、豊かな次世代社会の創造に寄与することを目指して表彰。

締切：平成 30 年 6 月 30 日（土）
 問合せ先：
 （公財）都市緑化機構「緑の環境プラン大賞」事務局
 TEL：03-5216-7191
<https://urbangreen.or.jp/grant/3hyosho/green-plan>



第 38 回緑の都市賞

緑豊かな都市づくり・まちづくりをめざし、緑を守り、育てる活動を募集します。

対象内容：「緑の市民協働部門」、「緑の事業活動部門」、「緑のまちづくり部門」
 応募締切：平成 30 年 6 月 30 日（土）
 問合せ先：（公財）都市緑化機構内「緑の都市賞」事務局
 TEL：03-5216-7191
<https://urbangreen.or.jp/grant/3hyosho/green-city>



活動資金調達をお考えの NPO 法人・市民活動団体向けの助成金情報です。

申請書の書き方等の相談を受け付けております。
 ご相談（0182-33-7002）ください。
 休館日（木曜日）

THEME

補助金・助成金を得るためには

市民活動の資金を必要と考えている団体の相談があります。活動内容などを聞き取りながら、国、県、市などの行政からの補助金、企業が行っている助成金などを紹介しています。情報誌「ハンサン」でも、助成金情報を提供していますが、申請書の書き方、プレゼンの仕方が難しいとの声も聞かれます。今月号では、補助金・助成金を獲得するためにどうしたよいか考えてみましょう。

(熊谷 淳子)

◆補助金・助成金の情報を集める

広く宣伝をしていない場合があるので、下記のようなサイトなどで情報を収集しましょう。

・ JFCWEB | 助成金情報

<http://www.jfc.or.jp/grant-search/guide/>

・ CANPAN | 助成金情報

<http://fields.canpan.info/grant/>

・ 助成団体の発行する広報紙やポスター

・ 市報や社会福祉協議会の広報紙、掲示板

毎年同じ時期に公募されることが多いので、定期的に確認しておくのも良いでしょう。

◆募集・審査条件の確認

補助金・助成金などを提供する行政・団体・企業には、それぞれ助成する目的があります。例えば、「あきたスギッチファンド」では、「県民、企業、行政など社会全体から寄付や資金を集めて、地域課題に取り組むNPOやボランティア団体、地縁組織などに活動資金を助成します。」となっています。申請する活動内容がその目的に沿っているのかを振り返って、助成する側の考える課題解決と団体の課題解決が合っているのかを考えてみましょう。

例えば、活動内容が対象分野（環境保全や子育てなど）、対象事業（調査・研究・事業プロジェクトなど）に合っているのかを確認することです。実際の活動内容を充実することにもなるので、メンバーと情報を共

有する機会にもなります。

対象経費の内容は、事業内容と比較確認してください。団体の構成員に対する報酬、人件費等は使用できないなどの条件があるので、気を付けましょう。

◆活動をアピールする申請書

活動を知ってもらうためには、専門用語や業界用語といわれる用語は、審査する側に負担がかからないように使用しないなどの配慮をしましょう。客観性と具体性のある申請書にすることが、審査するにあたり判断基準の大半を占めるといわれています。申請する前に何度もメンバーと話し合いを重ねて、企画の開催時期、内容などできるだけはっきり明確にしましょう。

市民団体や協議会でも、申請が可能な助成金もあります。その際、規約などを提出する場合もあるので、発足の際にははじめから作成しておくことが活動するうえでも方向性が定まりやすいです。

ぜひ、補助金・助成金の情報を集めて当サポセンまでご相談ください。

南部市民活動サポートセンター 担当 今、熊谷、高城
TEL: 0182-33-7002 FAX: 0182-33-7038
E-mail: ssc7002@luck.ocn.ne.jp (木曜日休館)

編集スタッフの
つぶやき VOL.2

情報誌編集担当
熊谷淳子

…今月の「わくわくげんき」は、未来の担い手とこれからの地域を盛り上げたいと考えている事業への参加を取り上げました。どの事業も高校生自ら参加したいとの声がありました。今まで知らなかった地域の良さ、関わっている大人とのコミュニケーションをたくさん感じてくれていました。始めは、緊張の高校生の皆さんも帰りに、「またやりたいから声をかけてください」という感想ももらいうれしい気持ちです。未来の担い手と活動したいと考えている団体からの情報提供をお願いします。

秋田県ボランティア・NPO 活動ニュース県南版

ハンサン 2018年6月10日発行
6月号 VOL.132

発行：秋田県あきた未来創造部地域元気創造課
〒010-8570 秋田市山王四丁目1-1 TEL.018-860-1245

編集：特定非営利活動法人秋田県南 NPO センター
(南部市民活動サポートセンター)

〒013-0046 横手市神明町1-9
TEL.0182-33-7002 FAX.0182-33-7038

南部市民活動サポートセンター

【相談受付】月・火・水・金 9:00~18:00 土 9:00~17:00

【休館日】木曜日・年末年始(12/29~1/3)

〒013-0046 横手市神明町1-9
TEL.0182-33-7002 FAX.0182-33-7038

E-mail: ssc7002@luck.ocn.ne.jp

<http://www.kennannpo.org/project/supportcenter.html>

